

伊藤詮信 いとうけん 宗教家。明治九年九月十日三重縣生れ、昭和二十八年一月十四日歿（八三六一九三）。幼名清九郎・常吉。號花川生。十四歳で得度、明治二十四年真宗大學卒。二十八年無我苑を興し雑誌『無我の愛』創刊、翌年初解體と大正十年再開。この間山口の徳山女學校教諭等事務の忙りち再上京、『我生活』、『精神運動』を發行。

著書『^{百問}百答 信仰問題』（大正八年十一月十日丙午出版社）、『對精神

生活』（大正十年十一月十日東京堂）『信仰叢書』、『無我愛の眞理』

（佛敎文學會撰、大正十年十一月十日藏經書院）、『哲學入門』（昭

和七年九月五日山書房）、『無我愛の哲學』（昭和八年十一月二日東

田書店）、『京敎日本の大自覺』（昭和十二年一月十一日愛知・無我

苑、東田書店發賣）、『日本文化の性格』（合著・司法保護協會）『昭

徳』編輯部編、昭和十六年七月十五日録社）、『河下肇博士と京敎』

（昭和二十二年十月五日大阪・ナニワ出版部）等。

文獻、千山萬水樓主人（河下肇）著『社會主義批評論』附録無我愛の道

理』（明治二十九年一月）二十日讀賣新聞社）、河下肇著『人生の歸

趣』（明治二十九年二月）二十一日今日堂書店）、千葉耕堂著『無我愛

運動史概観』付・伊藤詮信先生略伝』（昭和四十五年四月一日千葉・

無我愛運動史料編纂会）、柏木隆法著『伊藤詮信とその周辺』（昭和

六十二年十月十日不）一出版）等。

